

平成25年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

消防及び防災に関する知識の普及及び啓発、調査及び研究、講習会の開催等を行うことにより、防火・防災意識の高揚を図るとともに、災害に強い街づくりを目指し、もって社会公共の安全及び福祉の向上に寄与することを目的として次の事業を行った。

(1) 和歌山市消防局防災学習センター運営事業

ア 和歌山市消防局防災学習センターの運営に係る業務について、平成25年4月から平成26年3月までの1年間、受託者として同センターの運営にあたり施設の見学案内を行った。

(平成25年度の入館者 11,898人 産経新聞特別号でPR)

イ 地震体験車に係る業務については、防災学習センター見学案内の一環として、防災意識の高揚及び防災に対する知識の向上を図った。

(平成25年度の利用者数12,421人<イベント派遣時の利用者含む>)

ウ 4月初旬に市内の全保育園、幼稚園、小学校と県下・大阪府下の小学校に学習センター利用案内を協会独自で送付し、団体利用数のアップを図った。

(県内 271通、県外 32通)

エ 防災学習センターの入館者10万人達成を記念して、5月14日に10万人目団体の和歌山大学教育学部附属小学校5年C組(生徒28名、引率2名)を迎えてセレモニーを開催した。

ウ 10万人達成記念の一環として、5月18日から7月31日の土・日・祝日と8月1日から31日の毎日、防災学習センター内で防火防災クイズラリーを実施。学習センターを体験する中でクイズの答えを探し出すことにより、防火防災について学習し身につけていただくとともに、参加者に記念品を贈呈し来館者アップを図った。

(TVCM 27本・リビング和歌山紙面PR、イベント参加人数 775名)

(2) 防災教育事業

ア 『子どもなかよしまつり&和歌山音楽大行進』への参加において、会場に地震体験車を派遣し、地震時の行動力を身につけることができるように指導した。

(平成25年5月5日 利用者 416人)

イ 和歌山市消防局内において、市民の防火・防災に対する意識の向上を図るため、防火防災絵画展を平成25年12月6、7、8日の3日間で実施した。

	小・中学校の部	幼年消防クラブの部
応募数	146作品	165作品
結果	消防協会長賞 1点	消防協会長賞 1点
	消防局長賞 1点	消防局長賞 1点
	優秀賞 7点	
絵画展来場者	267名	

平成25年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

ウ 和歌山市消防局防災学習センター及び消防局の施設を利用して、平成25年7月26、27、28日に夏休み防火防災スクールを開催し、親子で楽しみながら火災予防意識の向上と災害時の行動力を身につけることができた。

(参加人数 小学生 79名 保護者等 81名)

エ 市民をはじめ市内の各種団体及び会員事業所を対象に防火・防災等出前講座を開催し、地震、津波、火災、その他救急に関する対策や対処方法を指導した。

(出前回数 63件)

オ 会員事業所を対象に防火・防災に関するDVDの貸出しを行った。

(貸出し件数 15件)

(3) 防火防災広報等事業

ア 春と秋の火災予防運動を和歌山市消防局と共催して行った。

	実施日	実施内容
秋	11月 9日～15日	防火啓発ポケットティッシュ配布 5,000個 TVCMにて防火啓発 12本
春	3月 1日～ 7日	防火啓発ポケットティッシュ配布 5,000個 TVCMにて防火啓発 12本

イ テレビ、ラッピングバス、啓発旗などの広報媒体を通じて防火防災意識の向上を図った。

	実施日	実施内容
防災週間 (防災の日)	8月30日～9月5日	TVCM 6本 産経新聞特別号で防災グッズ普及促進広告
紀州おどり	8月3日	協賛 (うちわ・パンフレット等)
高齢者等防火推進週間	9月13日～19日	TVCM 6本
年末火災特別警戒	12月15日～31日	TVCM 21本
防火啓発バス	通年	うっかり火災防止啓発
第13回和歌浦バイマ ラソン With ジャズ	10月27日	コース内に啓発旗 100本

平成25年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

- ウ 救急車の利用増加・救急隊員の現場到着時間の遅延を防止するために、救急車の適正利用を呼びかけた。

	実施日	実施内容
ラッピングバス	通年	適正利用の呼びかけ
救急医療週間 (救急の日)	9月8日～14日	TVCM 6本

- エ 会員事業所等に「消防協会だより」を年2回発行し、配布した。

(7月・1月 各700部)

- オ 防火防災絵画展入賞作品を活用して、カレンダーを作成。絵画展応募者全員と市内の保育園、幼稚園、小学校、支援学校及び会員事業所に配布し、防火防災意識の向上を図った。

(カレンダー作成部数 1,000部)

(4) 講習事業

- ア 各種講習会について、平成25年4月から平成26年3月までの1年間、受託者として下記講習会を実施した。

i) 甲種防火管理新規講習	7回	受講者	499名
甲種防火管理再講習	1回	受講者	52名
防災管理新規講習	1回	受講者	27名
ii) 患者等搬送乗務員基礎講習	1回	受講者	6名
患者等搬送乗務員定期講習	1回	受講者	5名
iii) 普及講習	40回	受講者	2,067名
普通救命講習	71回	受講者	1,715名
上級救命講習	4回	受講者	78名
応急手当普及員講習	2回	受講者	9名

- イ 上記講習会にともなう各種講習テキストの販売を実施した。

i) 甲種防火管理新規講習テキスト	495冊
甲種防火管理再講習テキスト	52冊
防災管理新規講習テキスト	27冊
ii) 患者等搬送乗務員基礎講習テキスト	6冊
iii) 応急手当講習テキスト	185冊
心肺蘇生音声誘導器	11個
心肺蘇生トレーニングキット	3個

(5) 防火防災用品等普及事業

- ア 非常持出品等の災害発生時に必要な防災用品の普及促進を図った。

- i) 産経新聞特別号、リビング和歌山に広告掲載
(キャラクター持出袋セット 3セット販売)

平成25年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

ii) イベントにて、防災グッズの展示販売及び非常食の試食販売を実施した。

(販売個数 : 非常食おこげ 5個、非常食五目ご飯 21個)

イ 消防図書等の書籍の販売を行った。(1, 144冊)

(6) 市民防災大学講座開催事業

地域防災リーダー養成講座と公開講座について、和歌山市(総合防災課)から委託を受けたので企画、立案及び会場運営、アンケート調査、報告等の業務を実施した。

	実施日	受講者
地域防災リーダー養成講座	7月14日	43名
公開講座	1月19日	59名

(7) 5団体に関する事業

和歌山市危険物防火研究会、和歌山市防火管理者連絡協議会、和歌山市防火管理者連絡協議会各支部、和歌山市LPガス防火研究会、和歌山市消防交友会の経理業務について、平成23年6月から委託を受けたので、引き続き同団体の業務を行った。

(8) その他和歌山市消防協会の設立目的を達成するために必要な事業

ア 防火協力団体や各種研究会への広報活動支援を行った。

イ 協会充実に関する調査等の調査研究視察を実施した。

ウ 消防職・団員に対して、優良表彰を行った。

(3月3日 宮北分団・新南分団・西山東分団)

エ 防火防災意識の向上と協会活動の周知を目的として、広報啓発活動やイベントで使用する協会キャラクターの募集、選考を実施し協会キャラクターを決定した。

(応募作品 37作品、最優秀作品 1作品)